

一生一品、  
ただいま  
模索中である。



火の国阿蘇の  
恵みのブランド

然  
zen  
A s o C i t y

創業百年を超える老舗の四代目店主だ。  
ただし正直なところ、その自覚を持ち続けていたわけではなく、  
菓子に自分の人生をかけるのはなあ……。

まるで空気が入れ替わるようにその意識が変わったのは、  
平成二十五年に三代目である父が他界してからである。

たとえば、餡。

砂糖と小豆と寒天だけで練り上げるものが、

「どうしてこうまで奥が深いのだろうと……」

いまさらながら感じ入った。

菓子づくりの世界に突進していく。

昨日までは老舗の第一章だったのだ。

今日からが僕の第二章。

数年間よそで修業していたときの師匠が言った

「一生一品」のことが身に沁みる。

「その一品、模索中です。まだアイデア真っ白です」

菓舗さとう 佐藤法志

あるがまま、という貴さ。

人と自然が共作する阿蘇。